

第1回 Oracle フォーラム

ダウン症児の健康と教育についての勉強会

講演 1. ダウン症児の健康と生活

大阪医科大学小児科教授 玉井 浩 先生



日本ダウン症療育研究会会長, 日本ダウン症協会理事, JDS(日本ダウン症協会)大阪支部長

玉井先生は、年間 1000 人以上のダウン症の子どもたちの診察を通して、生活、教育、成人後まで、子ども達の今と未来を考えた医療を実践しておられます。また日本で初めて大学病院内に、学習に課題をもつお父さんを対象に検査や指導を行う LD センターを設立されました。今回は日常の子育て、身体上の各年齢に応じた特徴や健康上の注意点などをふまえたダウン症児の育て方についてお話いただきます。

講演 2: 赤ちゃん体操と福祉サービスの利用について

山陽学園大学総合人間学学生生活心理学准教授 上地 玲子

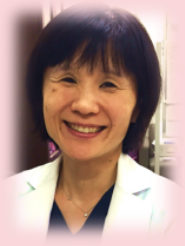


臨床心理士、JDS（日本ダウン症協会）岡山支部長、赤ちゃん体操指導員、岡山県教育委員会委員

岡山市保健所・児童デイサービスで多くのダウン症のある赤ちゃんに体操指導、県内の医療機関や保健所と連携してピアサポート活動を実践しています。今回は、ダウン症の赤ちゃんが正しい姿勢で歩行できるまでの具体的な体操指導、そして子育てをする上で役立つ福祉サービス（自治体によって違いがあります）についてお話いたします。

講演 3: ダウン症児の口腔周囲筋力と訓練の意義

九州大学循環器内科講師 井手 友美



ダウン症児の手や足の筋肉は、生まれた時はやわらかくても、成長に伴いゆっくりですが歩行も確立し、運動もできるようになります。しかし、おしゃべりや食事、呼吸、睡眠といった発達にかかわる口のまわりの筋肉は積極的に働きかけないとなかなか機能しないことがわかってきました。厚生労働省の科学研究の結果をふまえて、ダウン症児の口の筋肉の特徴と訓練の方法についてご紹介します。

参加
無料

2016年 9月 3日(土)

10:30 開場 11:00-13:15 講演会
会場 九州大学医学部 百年講堂中ホール 1・2
〒812-8582 福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号

どなたでも参加できますが下記のサイトで申し込みが必要です。

<http://Oracle-Forum.jimdo.com>

電話またはメールでも受け付けます。

(Email: oracle@ffc-inc.jp TEL 050-3309-1195)

なお、会場に託児はありませんが、お子様連れで聴講できます。

多数の参加申し込み者のため、「福岡市立こども病院」から「百年講堂」へ会場を変更しました。開始時間も変更になりましたのでご確認ください。



主催：Oracle フォーラム実行委員会

本会は、日本医療研究開発機構委託認知症研究開発事業研究班（代表井手友美）および文部科学省科学研究助成事業研究班（代表上地玲子）の事業の一部です。